

子ども会未来夢



高崎市子ども会育成団体連絡協議会 (こどもかいみらいむ)

高崎市高松町35番地 (郵便番号: 370-8501)

高崎市市民部防犯・青少年課内

電話: 027-321-1297 FAX: 027-322-2559 (8:30~17:30以外)



↑ 第56回高崎市子ども会「上毛かるた大会」で優勝・準優勝された皆さん

平成27年度 行事予定 (案)

4月3日	定期総会	市民活動センター	8月22日・23日	スポーツ大会	和田橋運動場広場
4月~5月	写生大会	各校区等で個別開催	9月13日	かるた審判講習会	青年センター
5月10日	スポーツ大会審判講習会	青年センター	10月17日 ~19日	関東甲信越静ブロック研修	伊香保町 ほか
5月31日 6月14日	校区育成指導者研修会	青年センターほか	1月上旬	市かるた審判・監督会議	高崎市役所会議室
5月31日	インリーダー養成講習会	青年センターほか	1月17日	市上毛かるた大会	浜川体育館
7月3日 ~5日	写生大会展示会	市民活動センター	1月下旬	かるた市選手合同練習会	市民活動センター
7月4日	写生大会表彰式	市民活動センター	2月7日	上毛かるた競技県大会	ぐんま武道館
7月24日・27日	スポーツ大会審判監督会議	高崎市役所会議室	3月上旬	安全共済会説明会	高崎市役所会議室

※この予定は、変更になる場合があります。※

高崎市上毛かるた大会

二次リーグ進出めざし一次リーグで熱戦展開
県大会出場をかけて二次リーグはさらに激戦

平成二七年一月一八日(日)に第五六回高崎市子ども会かるた大会が開催されました。一・二年、三・四年、五・六年生の校区代表者らが団体戦、個人戦にて高崎市の代表を目指して熱戦を繰り広げました。一次リーグは、一四四コートを使用し、各ブロック一位通過を目標に五回戦行われました。午後からは、一次リーグで各ブロック一位で勝ち上がった選手達が二



次リーグ五回戦、決勝戦三位決定戦を行いました。また、午後には、中学生の部も行われ小学生とは違う迫力ある試合を見せてくれました。会場では、子供達の元気な声が響き、真剣な表情で取り組んでいる姿が見られました。

大会の前日から会場準備に協力いただいた校区会長の皆さん、そして当日競技審判に当たっていたいただきました校区審判員・高崎市かるた審判員の皆さんには厚く御礼申し上げます。また、各小学校の校長先生には選手たちの激励に駆けつけていただきありがとうございます。ありがとうございました。

大会結果は、以下の通りです。団体の名前掲載順は校区からの報告の順です。

▽団体戦一・二年の部

- 優勝 下中居・中居四丁目子ども会(中居)
- 島田もも子 片岡 陽
- 金井 優磨 清水日南子



▽団体戦三・四年の部

- 準優勝 筑繩子ども会(六郷)
- 岡庭 楓 大村 尚文
- 岡庭 柊 根岸 そよ
- 第三位 菅谷子ども会(桜山)
- 淡島 要 新井田佳吾
- 長谷川結菜 境原 快
- 第四位 上二子ども会(倉賀野)
- 内山 遥人 金嶋 春樹
- 生方健太郎
- 優勝 宮沢子ども会(宮沢)
- 後閑 美侑 鈴木 風
- 濱名 麗愛
- 準優勝 一〇区子ども会(新町第二)
- 日向 暖佳 本多 麻誉



▽団体戦五・六年の部

- 黒澤 楓花 宮島奈那江
- 第三位 新保子ども会(東部)
- 長谷川瑞妃 宮野 真佳
- 星野明日香 井草 瑠亜
- 第四位 菅谷子ども会(桜山)
- 齊藤 一 高橋 琉生
- 長谷川亮太 宮下 采音
- 優勝 中泉子ども会(桜山)
- 岡田 晃政 星野 孝仁
- 塩野 通加 茂木万莉杏
- 準優勝 宮沢子ども会(宮沢)
- 清水 聖渚 鈴木 音
- 後閑愛央花
- 第三位 井出子ども会(上郊)

▽団体戦中学生の部

- 優勝 中泉子ども会(桜山)
- 住谷 真悠 西田 梨瑚
- 白須ななみ 市川さくら
- 準優勝 井出子ども会(上郊)
- 河田 杏菜 友松 佑輔
- 島田 将仁 宮沢 康太
- 第三位 館双葉子ども会(寺尾)
- 永井 咲 阿久澤明李
- 大平 都和 江原 瑞生
- 天田 菜月 桜澤 日向
- 斉藤 琴映 斉藤 未結
- 第四位 中石原子ども会(片岡)
- 有馬 夏海 植杉日向子
- 黒谷 慈深 森下 真帆

▽個人戦一・二年の部

- 優勝 杉原 健心
- 準優勝 青木 夢成
- 第三位 稲葉 葵
- 第四位 高橋 碧生
- 準優勝 青木 夢成
- 第三位 塚田子ども会(国府)
- 七の一区子ども会(下室田)
- 第四位 菅谷子ども会(桜山)
- ▽個人戦三・四年の部
- 優勝 吉田 真優

子ども会スポーツ大会

各競技で熱戦が繰り広げられる！

平成二六年八月二三日(土)、二四日(日)の二日間にわたり、和田橋運動広場において、第四七回高崎市子ども会スポーツ(球

技)大会が開催されました。

前日の雨の影響でグラウンドコンディションが万全でない中、ソフボール、ポートボール、ドッジボールの三競技が行われました。



- 上小島第二子ども会(六郷)
- 準優勝 阿久沢 果歩
- 第三位 上新保子ども会(新高尾)
- 白石 真菜
- 下三子子ども会(寺尾)
- 第四位 木暮 真理
- 中島子ども会(滝川)
- ▽個人戦五・六年の部
- 優勝 福田 陸人
- 菅谷子ども会(桜山)
- 石塚 知希
- 下大島子ども会(西部)
- 第三位 神山 瑞妃
- 下台子ども会(豊岡)
- 第四位 岩本 奎昇
- 真町子ども会(東)
- ▽個人戦中学生の部
- 優勝 島田 百楓
- 井出子ども会(上郊)
- 準優勝 福田 伊吹
- 菅谷子ども会(桜山)
- 第三位 近藤 綾菜
- 砂原区子ども会(新町第二)



- 連日、猛暑の中、日頃の練習の成果を発揮し、勝利に向けて一致団結して戦う姿は、見る者に感動を与えたくさんの声援が送られました。
- 大会開催にあたり、準備や審判などにご協力いただいた校区協力者の方々に感謝申し上げます。
- 大会結果は以下のとおりです。
- ▽ソフトボールの部
- 優勝 南小校区
- 準優勝 倉賀野小校区
- 第三位 新高尾小校区
- 敢闘賞 佐野小校区



- ▽ドッジボールの部(高学年)
- 優勝 京ヶ島小校区
- 準優勝 吉井小校区
- 第三位 寺尾小校区
- 敢闘賞 箕輪小校区



- ▽ポートボールの部
- 優勝 佐野小校区
- 準優勝 中居小校区
- 第三位 東部小校区
- 敢闘賞 京ヶ島小校区



上位入賞された校区の皆さんおめでとうございます。各種目の優勝チームの写真に掲載します。入賞できなかった校区は来年の健闘を期待します。

インリーダー養成講習会

子ども会のリーダーを目指す、四、五年生を対象とした講習会が、観音山キャンプパークジョイナスにて開催されました。

平成二六年二月一六日(日)高崎市観音山キャンプパークジョイナスにおいて、インリーダー養成講習会が開催されました。

季節柄、肌寒く感じる気候ではありましたが、晴天に恵まれた中での実施となりました。

開会式では子供達の元気なあいさつから始まり、オリエンテーション後の「子ども会のリーダー



▶レクリエーションは楽しい!!

について」の講話の中では「リーダーとして行事に参加するだけではなく、企画、計画する立場であることを自覚するように」との話をしていたいただきました。

休憩をとり、わんぱく広場へ移動後のレクリエーションでは講師の勝島さんをお迎えして、工夫を凝らした数々のゲームを行い、頭や体を使いながら約一時間半、子



▶いっぱい食べました。

◀危険な点を探せ!!



供も大人も楽しめる講習内容となりました。

昼食は子供達のお楽しみ、カレーライスでした。晴れ渡る青空の下で食べるカレーライスは格別で、おかわりをする子供が大勢いました。

午後になり、まずKYT(危険予知トレーニング)講習を行いました。班に分かれ、イラストを見て何が危険なのか予知することを目的としながら、子供達の真剣に話し合う姿が印象的でした。班ごとにまとめた意見も発表しました。その後は、班別に野外を散策しながら制限時間内にポイント数を

◀果たして順位は?



競い合い、ゴールを目指すというオリエンテーションを行いました。子供達は山道でも全く疲れを感じることなく、元気いっぱいでした。

最後に、今日一日の体験を感想文として書き、閉会式で修了証を授与され、解散となりました。

朝、講習会が始まる前は、子供達ひとりひとりの表情に緊張感が見てとれましたが、今日一日、行動を共にしていくうちに仲間たちとの友情も生まれ、朝の緊張感が嘘のようにとけ、帰る頃には笑顔と自信に満ちていました。この日の貴重な経験を、リー

ダーとして数々の場面で活かせるよう、今後の活躍を期待しています。

◀今日は何を学んだかなあ…



◀次期のリーダー誕生!!



校区育成者・指導者研修会

今年度から初級指導者認定講習会に強化！

平成二六年五月二五日と六月

一五日の二日間にわたり、高崎青年センターにて、育成会役員として基礎的な知識と技術を習得し、育成会活動の活性化を目的とした育成指導者研修会が行われました。

各校区より育成会本部役員が集まり、充実した研修を受けることができました。



→後藤県子連会長の講演

安全講義・関連映像視聴

初日は、県子連後藤守吉会長による「子ども会」についての講演を聞きました。その中で「子ども達が、自分で考え動けるように、大人は口を出さないこと」等、長年教育に携わってきた経験をふまえて教えて頂きました。その後、「KYT(危険予知トレーニング)」の講義では各グループに分かれ育



→子ども会行事内容を検討

安全会共済会加入について

子ども会安全会とは、会員相互扶助の精神に基づき、子ども会活動中に発生した事故に対して見舞金を給付する制度です。

加入できる対象は、市内子ども会に登録している会員です。就学前、小学生、中学生の子ども会員、指導者、育成者や子ども会関係者も加入できます。就学前の児童には、その保護者の加入が原則となります。行事直前の加入は、申込みが行事までに間に合わない事があるため、年度初めでの加入をお

願います。

もし、事故が起こってしまった場合は、早急に連絡して下さい。日時が経ってしまつと対応できなくなる場合があります。

高崎市子育連では、子ども達が安全に活動できるように、KYT(危険予知トレーニング)を用いた講習会を開催しています。ぜひ参加していただいて、各地区でも実施したり、行事前には会場の危険な箇所の確認をするなどで、安全への配慮を行って下さい。

←小野里先生のレク指導



成会行事を想定し、KYTを活用しながら準備を進めていくことを学びました。

レクリエーション指導体験

二日目は、県キャンプ協会の小野里理事長によるレクリエーション指導でした。レクリエーションを通して、参加者の間に、あつという間に一体感が生まれ、レクリエーションの大切さを実感しました。その後、再びKYT講習を受け、二日間の研修が終了しました。

今回、特に有意義に思ったのはKYTについてです。KYTを用

いることにより、一方的に指導する注意でなく子どもたちが自分の問題として理解しやすい要素をもっていると感じました。

今年から研修が二日間に増え、更に充実した丁寧な研修となり、各校校区での今後の育成会活動に役立つものとなりました。

KYT(危険予知トレーニング)とは

現状把握↓問題追及↓対策を立て↓解決目標を決めて実践していく訓練方法のこと。



→KYTの成果を発表

校区毎に写生大会を開催

今年は写生大会を校区で会場設営し実施。大勢の参加者により盛大に開催しました。バラエティ豊かな作品が完成しました。

平成二六年四月から五月に第一五八回子ども会写生大会が開催されました。空はおたやかに晴れ渡り、絶好の写生日和となりました。今年度はメイン会場は設定されず、各校区が選定した場所で、それぞれ実施されました。児童たちは、写生するポイントを決めると、真剣な眼差しで画用紙と向き合い、作品を仕上げていきました。

児童たちが一生懸命描き上げた作品は、校区ごとに選考が行われ、代表作品が選ばれました。どの作品を見ても素晴らしく、各賞の選考には苦慮されたと思われます。各校区からの代表作品は市子連に集められ、各賞の選定が行われました。優れた作品の中から各賞を選考する際には、大変な苦労があったと思われます。

→市長賞になった作品



市長賞

→議長賞になった作品



議長賞

→教育長賞になった作品



教育長賞

入賞した作品は、高崎市市民活動センターにおいて、七月三日(木)～六日(日)まで展示され、五日には特賞受賞者の表彰式が行われました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

惜しくも入賞を逃した皆さんも次回もまた、入賞目指して頑張ってください。

以下、各賞を受賞された児童名を紹介します。(特賞のみ記載)

▽市長賞

藤田 聡悟 (矢中小六年)

▽議長賞

篠原 奈帆 (箕輪小五年)

▽教育長賞

細谷 優衣 (城東小六年)

▽区長会長賞

佐藤 匠馬 (六郷小六年)

阿久沢果歩 (新高尾小四年)

佐藤 翔英 (京ヶ島小六年)

小嶋 萌 (滝川小五年)

中島 優作 (国府小六年)

▽小学校長会長賞

宮川 舞人 (塚沢小六年)

茂木 立志 (八幡小六年)

紫野 彩音 (金古小一年)

飯塚あいか (桜山小四年)

吉澤 慶彦 (中室田小三年)

▽PTA連合会長賞

丸山 莉於 (中川小六年)

鈴木 大翔 (長野小六年)

中里恭之介 (大類小六年)

町田 真彩 (東部小四年)

竹内凜々子 (中居小五年)

▽(一社)観光協理会長賞

石崎 万結 (東小四年)

清水 浩嘉 (西小五年)

太田 有哉 (南八幡小四年)

▽社会福祉協議会長賞

富樫 和奏 (北小六年)

丹下 英都 (城南小六年)

根岸咲代子 (堤ヶ岡小六年)

←写生大会の様子(一昨年)



▽ペンてる社長賞

田中 千愛 (西部小五年)

飯島 拓真 (乗附小六年)

塚越 萌衣 (倉渕小一年)

福島 瑠菜 (車郷小六年)

小池 未桜 (箕郷東小六年)

河野 華子 (新町第一小六年)

中曽根史佳 (下里見小六年)

大澤 碧波 (吉井小四年)

▽文具事務用品組合会長賞

金子 晴子 (佐野小五年)

橋本 拓実 (倉賀野小六年)

飯野 安美 (岩鼻小五年)

新居 叶女 (北部小六年)

中山 七海 (浜尻小六年)

児玉 愛美 (里見小五年)

▽市子育連会長賞

大類 さくら (多胡小二年)
 大野 美和 (南陽台小三年)
 下田 知穂 (南小一年)
 有馬 夏海 (片岡小六年)
 豊田 達也 (寺尾小四年)
 神山 瑞妃 (豊岡小六年)
 嶋田 千夏 (上郊小五年)
 小玉 真由 (金古南小六年)
 常田 咲 (新町第二小四年)
 内海 寿太 (下室田小五年)
 島方 杏梨 (久留馬小六年)
 金田 菜央 (吉井西小二年)
 大塚 皓介 (入野小五年)
 浦野凛太郎 (岩平小三年)



→ 写生大会の様子 (一昨年)

子ども会活動体験作文

昨年群馬県子ども会育成団体連絡協議会主催の第二一回子ども会

活動体験作文コンクールが実施され、高崎市から応募した、深澤美咲さんの体験作文が優秀賞を受賞しました。受賞おめでとうござい
 ます。今後のご活躍を期待しております。受賞作文を紹介させていただきます。

初めて球技大会に出て

深澤 美咲 中尾第二子ども会 (新高尾小 四年)

わたしたちの地区は、五年生の女子がないので、わたしたち四年生が大会にできることができました。

練習試合では、五・六年生のせの
 の高いお姉さんたちにかまわれて、前が見えなくてボールをも
 らつてもパスができないじょうた
 いでした。でも、足もとのすき間
 をねらって、バウンドパスをして
 自分のチームの人たちにわたそう
 と努力していました。

大会本番前、かんとくさんに、

「相手は大きい人たちがたくさんいると思うので、ボールを持った
 らとにかくドリブルをして、前に
 いけるようにしてね」と言われま
 した。わたしたちはみんなで「ハ
 イ」と大きな声で返事をしました。

一試合目、かんとくさんに言われ
 たようにやるうとしたけど、うま
 くできず負けてしまいました。

二試合目の時に、キャプテンか
 ら「遠くに投げるから遠くにいて
 ね」と四年生に言われました。今
 度こそ勝ちたいという気持ちが大き
 かったです。

後半は、ゴールマンになりました。前半よりも相手がゴールをた
 くさん入れたので、一度同点にな
 ってしまった。でも、わた
 したちのチームも負けずにシュー
 トして、わたしはそのきたボール
 を全部キャッチできるよになん
 ばりました。わたしの心の中は、
 はずしたらどうしようという気持
 ちでいっぱいでした。タイムの時
 キャプテンが「四〇点以上は取る

うね。」といいました。みんな
 ぞったい勝つぞという気持ちでが
 んばった結果、目ひょうの四〇点
 以上を取って勝ちました。

ゴールマンはドキドキしたけ
 ど、ミスをしなくて取れて良かっ
 たです。勝ててうれしくて少しな
 みだがでてしまいました。一勝二
 敗で六位でしたが、一勝できてう
 れしかったです。

左記の作品とともに高崎市子育
 連には一六名の児童から体験作文
 が寄せられました。全ての作品を
 応募しました。

県で入選しなかった作品の中か
 ら広報部会で選定した一作品を紹
 介します。

先輩の立場を受け継いで

飯塚 南知 中泉子ども会 (桜山小 六年)

「中泉地区のお祭りがあるよ。」
 私は、地区育成会の方から連絡が
 ありました。この連絡があると毎
 年、私の心の中は幸せがまいるお
 てきたかのように胸がいっぱいに
 とときめきます。理由は、地区のお

祭りがとても楽しみだからです。

私はお知らせがあつて、あるこ
 とに気が付きました。それは、こ
 の子ども会育成会のお祭りは私に
 とつて最後だということです。も
 う、小学校六年生なので来年は後
 輩に受け継がなければいけないの
 です。私は、このようなことに気
 が付き、私の小学校の卒業生も六
 年生の頃はこんなことを思ってい
 たのだろうと思いました。私は、
 今までの先輩方が下級生の面倒を
 見ながら子ども会に取り組んでい
 たのだと思います。私も高学年に
 なるまでは、上級生の方が自分た
 ちのことをよく考えて行動してく
 れていました。このことを、今に
 なって知ることができました。

私たちは、先輩方のおかげで子
 ども会という場所で成長することが
 できました。私は、先輩の気持
 ちを受け継いで今度は自分が先輩
 の立場となつて下級生を見守つて
 いきたいと思いました。

お祭り当日、私は屋台で汗水か
 いて一生懸命頑張りました。そし
 て、下級生にも屋台でのことにつ
 いて教えたり、一緒に取り組んだ
 り、はげましたりしました。下級

県大会でも活躍



生も、お祭りの終わり頃には慣れた手つきで自分の担当場所で、活躍していたので良かったです。私は、自分の担当以外の屋台も手伝っていました。すると、育成会の方が「休まなくて大丈夫。たくさん働いてくれてありがとう。」

と言っておりました。私は、この言葉に救われ自分が成長することができました。この子ども会での経験をきっかけとして、これからの生活でも下級生の事をよく考えて行動に生かしたいと思います。

平成二十七年二月二日(祝)に群馬県総合スポーツセンターぐんま武道館において第六八回上毛かるた競技県大会が開催されました。

高崎市代表として出場した選手は、それぞれの部門で健闘していただきました。各部門の上位入賞は以下のとおりです。

▽個人戦低学年(三・四年)の部

優勝 阿久沢 果歩

上新保子ども会(新高尾)

第六位 吉田 真優

上小島第二子ども会(六郷)

▽個人戦高学年(五・六年)の部

優勝 福田 陸人

菅谷子ども会(桜山)

準優勝 石塚 知希

下大島子ども会(西部)

▽個人戦中学校の部

第三位 福田 伊吹

菅谷子ども会(桜山)

入賞された選手の皆さんおめでとうございます。(写真左)



「子ども会活動体験」作文募集中

高崎市子育連では、子ども会活動体験作文を年間通じて募集しています。

子ども会活動は、異年齢の仲間集団の中で豊かな活動体験を通して、子どもたちの成長を促すことを目的として活動を展開しています。今後の子ども会活動をさらに充実発展させていくために、子ども自身に子ども会での体験を作文にさせていただいて、子どもの率直な「意見や感想」を応募していただくことにより、子ども会活動を推奨する目的で実施をします。

作文内容は、「子ども会活動(育成会主催行事を含む)に参加」して、自分自身で体験したことや、感じた事などを作文にさせていただくものです。どんな内容でも子ども会(育成会)活動に関するものであれば大丈夫です。市販の原稿用紙2枚程度にまとめてください。

応募作品には作文の裏面に、作文の題名、子ども会名、氏名、学年、住所、電話番号を記載してください。

応募された作品は、市子育連広報紙等に掲載のほか子ども会活動啓発資料として使用させていただくことがあります。また、毎年8月末日までに応募いただいた作品の中から優良な作品については「群馬県子ども会育成団体連絡協議会の子ども会活動体験作文コンクール」に推薦いたします。

おさんの書いた子ども会体験作文をどしどしご応募ください。応募お待ちしております。

応募作文の提出先は、市子育連事務局(高崎市防犯・青少年課内)へ提出してください。

編集後記

日頃より市子育連の活動にご協力をいただき有難うございます。

今年度はこの広報紙のほかに当会のホームページを立ち上げ、スポーツ大会とかるた大会の成績や写真を掲載して、より多くの方に見てもらえる機会をつくりました。まだ作成途中ではありますが、広報紙と合わせてご覧いただけます。ぜひ幸いです。また、市子育連の活動などに「ご意見・ご感想」があればお寄せください。今後の参考とさせていただきます。よろしくお願いたします。

- 発行責任者 会長 樋山 敏男
- 編集担当 副会長 丸山 芳典
- 広報部会(理事) 佐々木京子
- 広報部会 大村田百合子(城東小)
- 野口 彩子(京号小)
- 原田 貴幸(倉瀬小)
- 山本 一博(重郷小)
- 原 康好(金釜小)
- 乾 利昭(里見小)
- 松島さおり(下里小)
- 中島八千代(音井小)
- 高柳 雪絵(入野小)
- 嘉部 真澄(岩平小)